

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和7年第18週 (ARIのみ第17週) の発生動向

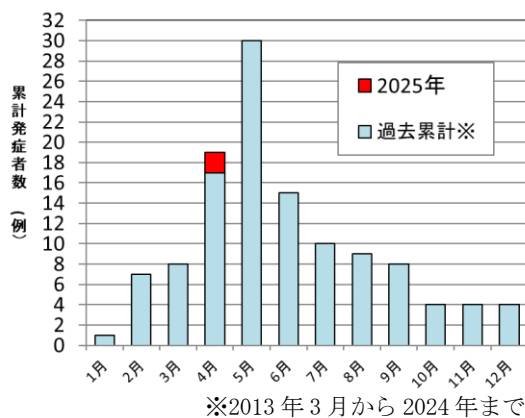
□ トピックス

・重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) (全数報告の感染症)
宮崎市保健所管内から報告があった。患者は70歳代の女性で、ダニの刺し口があった。県内での報告は、累計119例となった。

県内のSFTS 年齢別報告数 (届出開始以降)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	5	26	45	32	7

県内のSFTS月別発症者数 (届出開始以降)



□ 全数報告の感染症 (18週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：報告なし。3 類感染症：報告なし。
4 類感染症：重症熱性血小板減少症候群 1 例、日本紅斑熱 1 例。
5 類感染症：梅毒 3 例、百日咳 73 例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
4類	重症熱性血小板減少症候群	宮崎市	70歳代	女	—	発熱、頭痛、下痢、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、刺し口
	日本紅斑熱	都城	70歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常、全身倦怠感
5類	梅毒	宮崎市	10歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	丘疹性梅毒疹
			20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結
			20歳代	男	無症状病原体保有者	なし

	疾患名	報告 保健所	報告数	年 齢 群							症 状	
				0～4歳	5～9歳	10歳代	20歳代	40歳代	50歳代	60歳代		80歳代
5類	百日咳	宮崎市	30例	5	2	17		2	2	1	1	持続する咳、夜間の咳き込み、 呼吸苦、スタックート、ウーブ、 嘔吐、白血球数増多、 哺乳量低下
		都城	17例		7	8		1	1			
		延岡	7例		3	4						
		日南	5例		2	3						
		小林	1例		1							
		高鍋	7例		2	4	1					
		日向	3例		1	2						
		中央	3例		1	2						

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・第18週の定点医療機関からの報告総数(急性呼吸器感染症除く)は300人(定点当たり19.6)で、前週比86%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱で、減少した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症、感染性胃腸炎であった。また、第17週の急性呼吸器感染症の報告総数は1,475人(定点あたり52.7)で、前週比84%と減少した。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

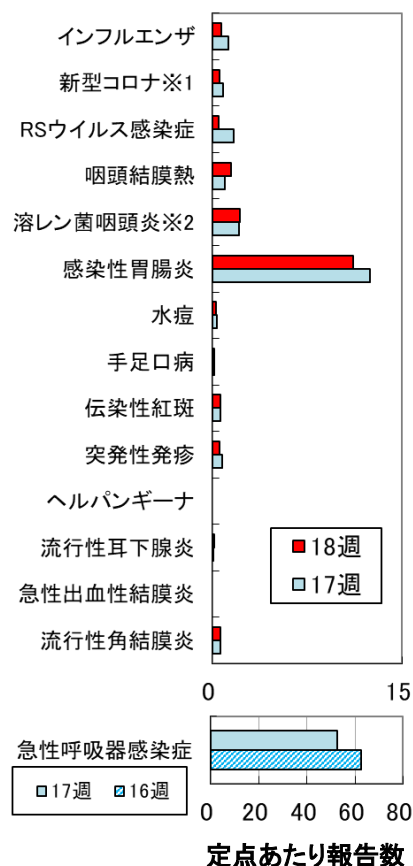
報告数は33人(2.2)で、前週比103%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(2.5)の約0.9倍であった。年齢群別は4歳から6歳が全体の約4割を占めた。

【感染性胃腸炎】

報告数は167人(11.1)で、前週比89%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(9.2)の約1.2倍であった。年齢群別は1歳から7歳が全体の約7割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015—2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

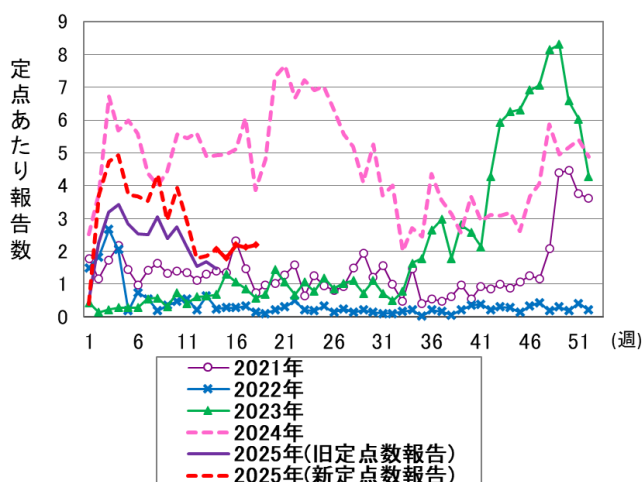
《前週との比較》



※1 新型コロナウイルス感染症

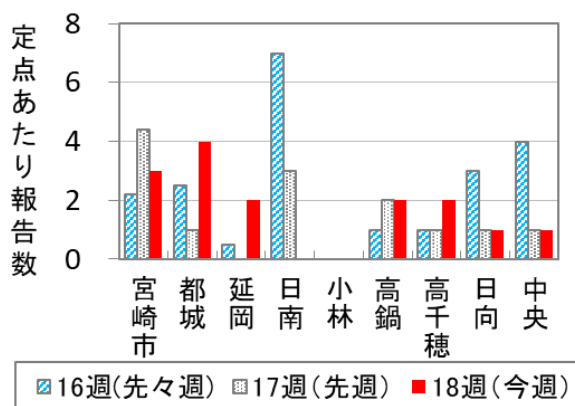
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

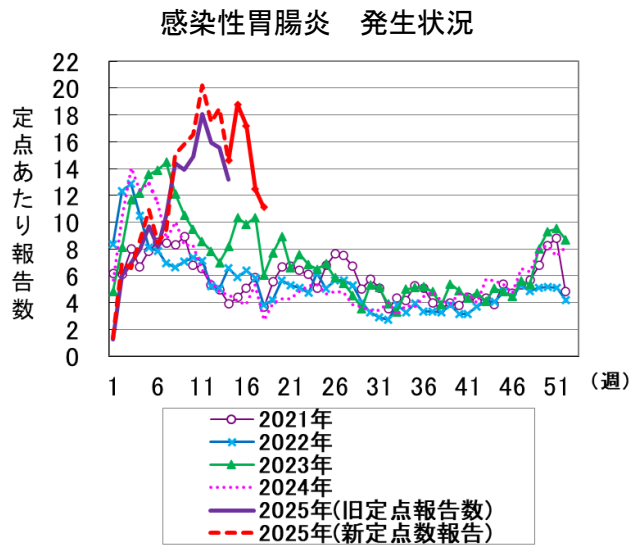
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



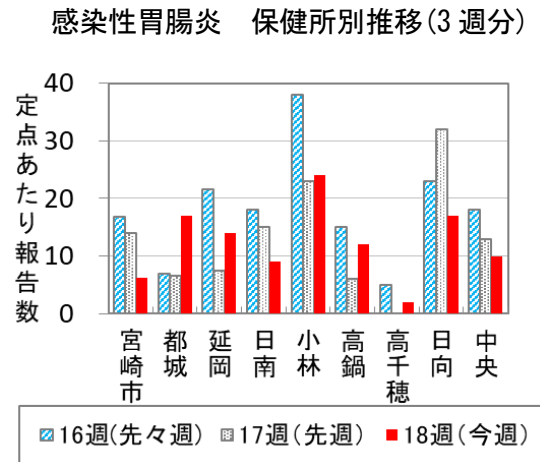
※2025年(新定点数報告)の第14週までは、
新定点医療機関数をもとに算出した参考値

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)





※2025 年(新定点数報告)の第 14 週までは、
新定点医療機関数をもとに算出した参考値



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は 1 例(定点当たり 0.1)で、延岡保健所から報告があった。年齢は 0～4 歳であった。

○感染性胃腸炎(ロタウイルス)：報告数は 3 例(定点当たり 0.4)で、宮崎市、延岡、高鍋(各 1 例)保健所から報告があった。年齢は 0～4 歳が 2 例、5～9 歳が 1 例で、病原体の群別はいずれも不明であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	伝染性紅斑(2.0)
小林	咽頭結膜熱(3.0)、感染性胃腸炎(24.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

※流行警報レベル開始基準値※

- ・咽頭結膜熱(3)
- ・感染性胃腸炎(20)
- ・伝染性紅斑(2)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

✚ 全国 2025 年第 17 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	225 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	32 例		
4類感染症	E型肝炎	10 例	A型肝炎	2 例	エキノкокクス症	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	4 例	つつが虫病	1 例	日本紅斑熱	3 例
	レジオネラ症	23 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	9 例	ウイルス性肝炎	5 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	10 例
	急性脳炎	5 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	22 例
	後天性免疫不全症候群	8 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	10 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	77 例	水痘(入院例)	12 例
	梅毒	157 例	播種性クリプトкокクス症	3 例	破傷風	1 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	2176 例	麻しん	11 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数(急性呼吸器感染症除く)は前週比 98%とほぼ横ばいであった。急性呼吸器感染症の報告数は前週比 110%と増加した。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 5,360 人(1.4)であった。新潟県(3.1)、山梨県(2.7)、山形県(2.6)からの報告が多く、年齢群別では 60 歳以上が全体の約 3 割、15 歳未満が全体の約 2 割を占めた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 6,672 人(2.8)であった。例年同時期の定点当たり平均値*(2.4)の約 1.2 倍であった。富山県(5.3)、茨城県(4.9)、埼玉県(4.6)、北海道(4.6)、栃木県(4.6)からの報告が多く、年齢群別では 4 歳から 7 歳が全体の約半数を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 19,774 人(8.4)であった。例年同時期の定点当たり平均値*(6.1)の約 1.4 倍であった。愛媛県(17.4)、大分県(15.4)、香川県(12.5)、宮崎県(12.5)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 2 歳が全体の約 2 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015—2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

疾病名		第17週	第18週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	35	20	4	1	12			1	2		
	定点当り	1.25	0.71	0.44	0.25	4.00	0.00	0.00	0.50	1.00	0.00	0.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	23	16	5	2	3			1	4		1
	定点当り	0.82	0.57	0.56	0.50	1.00	0.00	0.00	0.50	2.00	0.00	0.50
RSウイルス感染症	報告数	25	7	4		2			1			
	定点当り	1.67	0.47	0.80	0.00	1.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	15	22	14	3			3	1		1	
	定点当り	1.00	1.47	2.80	1.50	0.00	0.00	3.00	1.00	0.00	1.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	32	33	15	8	4			2	2	1	1
	定点当り	2.13	2.20	3.00	4.00	2.00	0.00	0.00	2.00	2.00	1.00	1.00
感染性胃腸炎	報告数	187	167	31	34	28	9	24	12	2	17	10
	定点当り	12.47	11.13	6.20	17.00	14.00	9.00	24.00	12.00	2.00	17.00	10.00
水痘	報告数	5	4	3	1							
	定点当り	0.33	0.27	0.60	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	2	2	2								
	定点当り	0.13	0.13	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	10	10	4	1	1	2				1	1
	定点当り	0.67	0.67	0.80	0.50	0.50	2.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.00
突発性発しん	報告数	12	9	3	1	4	1					
	定点当り	0.80	0.60	0.60	0.50	2.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	2	1		1						
	定点当り	0.07	0.13	0.20	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	4	4	1	2	1						
	定点当り	0.67	0.67	0.33	1.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点当り	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1	1			1						
	定点当り	0.14	0.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	4	3	1		1			1			
	定点当り	0.57	0.43	1.00	0.00	1.00	0.00	0.00	1.00		0.00	

2025年 第17週(04月21日～04月27日)

		第16週	第17週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器感染症	報告数	1751	1475	442	78	213	73	211	95	94	176	93
	定点当り	62.54	52.68	49.11	19.50	71.00	36.50	105.50	47.50	47.00	88.00	46.50

ARI定点:28、小児科定点:15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2025年 第1週～18週 保健所受理分)

2類感染症	結核	40例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例				
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	2例(1)
	つつが虫病	8例	日本紅斑熱	2例(1)	レジオネラ症	2例
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	1例	急性脳炎	2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6例	後天性免疫不全症候群	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	14例
	水痘(入院例)	1例	梅毒	46例(3)	播種性クリプトコックス症	1例
	破傷風	1例	百日咳	624例(73)		

()内は今週届出分、再掲